

TOPIC 10 正しい薬の飲み方を学ぶ

8/9 健康ステップアップ講座

健康ステップアップ講座が西庶路コミュニティセンターで開かれ、24人が参加しました。  
 この日は、町保健師が骨密度や血圧測定を行った後、みま薬局の美馬俊哉代表が「薬の飲み方はありますか？」と題して講話を行いました。美馬さんは、薬を正しく飲まなければ、副作用を引き起こしたり、健康状態が悪化する原因になることを説明しました。  
 参加した三宮和子さんは「骨密度を知れて良かったです。講話も参考になりました」と喜んでいました。



「睡眠薬を飲んででも眠れないときは、先生に伝えて」と話す美馬代表

TOPIC 7 世界最小級の哺乳類含む 生体4種を展示

8/5 トウキョウトガリネズミ展

町に生息する世界最小級の哺乳類「トウキョウトガリネズミ」の展示会が公民館で開かれています。  
 トウキョウトガリネズミは国内では北海道のみに生息しており、体長5センチ体重2グラムの小さな生き物。会場では町在住の写真家、六田晴洋さんが飼育するトウキョウトガリネズミを含む、その仲間たち4種の生体や開設パネル、映像などが展示されています。  
 初日に来場した安田絵梨子さんは「思っていたより小さくて驚きました」と話していました。



珍しいトウキョウトガリネズミの写真を撮る参加者



真剣な表情で筆を走らせる児童生徒

TOPIC 11 迫力ある書を披露

8/11 令和5年度小中学生席書大会

白糠書道連盟主催の小中学生席書大会が社会福祉センターで開かれ、参加した児童生徒が半紙いっぱいに筆を走らせ、迫力ある書を披露しました。  
 今年は小中学生合わせて29人が参加。「たこ」「全力」「目標」など、学年ごとに課題文字が発表されると、参加者は5枚の半紙に課題の文字を書き上げました。  
 書道連盟賞を受賞した對木亜香さんは「今まで受賞したことがない賞を取ることができたのでうれしいです。来年もまた参加したい」と受賞を喜んでいました。



中学の部決勝は、松下一誠さん(右)とウイスヌさん(左)が試合。

TOPIC 8 先祖をしのび アイヌ文化を後世に

8/6 第45回ふるさと祭イチャルパ

白糠アイヌ協会(天内重樹会長)は「ふるさと祭イチャルパ」をウレシパチセと東山公園アイヌ弔魂碑広場で行いました。  
 同協会や札幌ウポポ保存会の会員など約60人が参加。はじめにウレシパチセでカムイノミ(火の神への祈り)が行われた後、会場を弔魂碑広場に移し、ク・リムセ(弓の舞)や輪踊り、札幌ウポポ保存会の会員がポンチカップリムセ(小鳥の舞)などの古式舞踊を奉納。先祖に祈りをささげました。



アドウイソ・リムセ(舟こぎの踊り)の様子

TOPIC 12 スポーツを通じて 国際交流

8/13 スポーツ国際交流事業

教育委員会は8月10日から21日までの12日間、バドミントンの強豪国であるインドネシア共和国から3人の選手を招き、スポーツ国際交流事業を実施しました。  
 町を訪れたのは、アンナス・ウイスヌ・サプトウラさん(14歳)、ラファ・ギオ・シナトウリヤさん(16歳)、リエン・ハゲビタさん(16歳)の3人。  
 この日は、バドミントン大会が白糠学園を会場に開かれ、男子高校の部でギオさん、男子中学の部では松下一誠さん、女子の部ではリエンさんが優勝しました。

TOPIC 9 練習の成果を披露

8/6 しらぬかジュニアコンサート

ピアノを習っている、または町内の先生からピアノを習っている子どもたちの発表会「しらぬかジュニアコンサート」が社会福祉センターで開かれました。  
 コンサートには、小学1年から高校2年生まで12人の子どもたちが参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。子どもたちは、緊張しながらもピアノ曲を演奏すると、約60人の来場者から大きな拍手が送られていました。最後は、地域おこし協力隊の山田陽子さんが賛助出演し、出演者や来場者を楽しませていました。



先生と2人で同時に演奏するピアノ連弾も披露されました